

がん相談受付窓口の概要

相談日	月~金曜日(土日祝日除く)
受付時間	午前9時から午後4時
受付場所	耳原総合病院 1F 総合案内 (すぐに担当事務におつなぎします。)
費用	無料
ご相談をうけられる方 (対象者)	がん患者さまとご家族



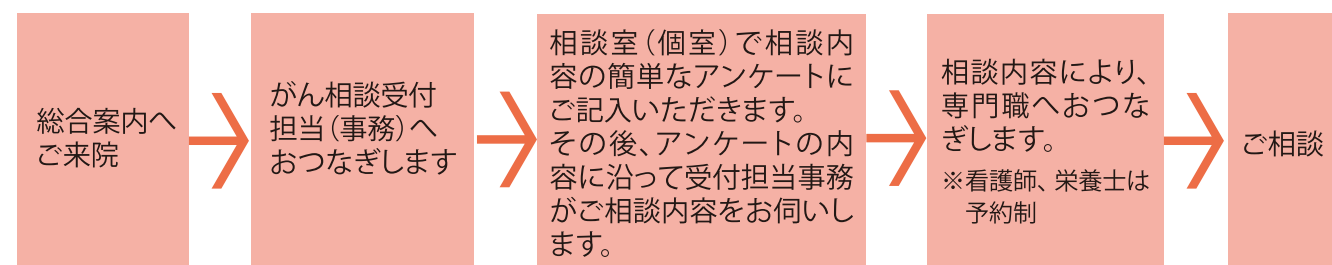
がん相談窓口

ご相談例	・医療費や生活費のことで困っている ・イライラする、気分が落ち込む ・がんに関する情報が知りたい ・食事や薬のことが知りたい など
------	--



相談室

ご相談の流れ



※ご相談終了後、次回のご相談日をご予約いただきます
また、受付担当事務よりご相談の満足度をお伺いさせていただきます

専門職(相談スタッフ)

ご挨拶

がん化学療法における副作用
症状などの相談に努めさせて
いただきます。
もちろんその他の相談も
お聞かせください。



がん化学療法看護 認定看護師
西嶋 看護師

お願い

お電話での予約やご相談は行
なっておりません。当日に専門職
におつなぎできない場合にありま
す。その場合、担当事務がスケ
ジュール調整し再度ご来院いた
だくことになります。
お手数をおかけしますが、ご理解
いただきますようお願い致します。



Doctor's Introduction

耳原総合病院医師紹介

泌尿器科 坂野 恵里

ほんの えり



泌尿器科

本年4月より赴任となりました泌尿器科の坂野恵里です。大阪府堺市生まれの高石市育ちです。大阪大学卒業後、泉大津市立病院で初期研修を含め4年、近畿大学医学部堺病院にて1年お世話になり、こちらに赴任となりました。

初対面の方からは必ずと言っていいほど、「どうして泌尿器科に?」と聞かれます。泌尿器科は、患者さんは男女問わず赤ちゃんからお年寄りまで対象で、扱う疾患も悪性腫瘍、尿路結石、前立腺肥大症、尿失禁などの排尿障害、尿路畸形、尿路感染症など多岐に渡ります。治療も内科的治療と外科的治療があり、手術は開腹手術もあれば内視鏡手術も多く、また腎移植も主に泌尿器科が行っています。学生時代の実習で面白いと思っていたのですが泌尿器科に飛び

込む勇気がなく、でも初期研修で泌尿器科をローテートする機会があり、それが御縁で今に至っております。女性泌尿器科医はニーズは多いのですが、まだまだ数が少ないのが現状です。

私自身も仕事に家事に育児に追われる日々ですが、いろいろな人生経験も日々の日常臨床に生かすことができると信じて、自分らしく働いていけたらと思っています。患者様はもちろん、地域の皆様、スタッフからも必要とされる存在になれるよう頑張っていきますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。

耳原総合病院 地域医療課

■「診察・入院申込書」「検査申込書」をFAXいただくか、お電話でご予約をお取りいたします。
※折り返しFAXにて予約票をお送り致します。

■予約当日、患者様が受診の際にご持参いただくもの
①保険証、②診療情報提供書、③上記予約票
※上記の3点をご持参いただくよう、患者様にお伝えください。

直通電話 072-241-0324
直通FAX 072-241-0208



vol.112 ぱとあ (8月号) 2011年8月10日発行

■発行人/松本 久 ■発行/社会医療法人 同仁会 耳原総合病院 地域医療課
〒590-8505 大阪府堺市堺区協和町4丁465番地
TEL 072-241-0501 (代表) TEL 072-241-0324 (直通)
URL <http://www.mimihara.or.jp/sogo/>

耳原総合病院の基本方針は「すべての方に24時間365日、質の高い医療を地域と共に提供し続けること」です



耳原総合病院の理念
耳原総合病院はこんな医療をめざしています

- ♥安全、安心、信頼の医療
- ♥無差別、平等の医療
- ♥患者負担の少ない医療
- ♥地域とともに歩む専門職の育成



脊椎と人工関節における低侵襲手術

整形外科領域の最近の手術療法の、最小侵襲手術(MIS:minimally invasive surgery)が主流となりつつあり、当院でもこれを目指しております。脊椎手術において、顕微鏡を使用しでの筋肉温存型腰椎椎弓間除圧術(MILD)、人工膝関節において最小限の筋肉の損傷で正確な手術MIS-TKAを行うことを進めています。



整形外科 吉岡 篤志

筋肉温存型腰椎椎弓間除圧術 muscle-preserving interspinous interlaminar decompression:MILD法

2011年度より当院では、最新型の顕微鏡を導入し、顕微鏡下の腰椎後方除圧術を開始しております。腰椎後方除圧術における低侵襲手術として、2004年に京都府立医大の八田陽一郎先生が発表された低侵襲手術 Muscle preserving interlaminar decompression(MILD法)を採用

しております。この手術法の特徴は、腰椎の棘突間から進入し、傍脊柱筋の付着部を温存するので傍脊柱筋および椎間関節への侵襲を最小限にし、かつ棘突起のレバーアーム機能を温存できる新しい低侵襲手術法となっております。

